

## 実務経験のある教員による授業科目（医療経営学科）

対象 学科	科目名	担当教員	担当教員の主な 実務経験	授業内容
医療経営学科	医学用語概論	江原 朗	病院で小児科医師として勤務。 (1991～2003)	医学・医療に関わる者にとって、必要な医学用語を学ぶ。 <u>臨床の現場での知見を提示し、より実践的な授業を展開している。</u>
	臨床病理学概論	江原 朗	病院で小児科医師として勤務。 (1991～2003)	医療機関で仕事につく者として、病因（病理学）の基礎的な知識を学ぶ。 <u>臨床の現場での処置等に関する知見を提示し、より実践的な授業を展開している。</u>
	医療倫理	江原 朗	病院で小児科医師として勤務。 (1991～2003)	医療行為における倫理的問題を理解し、医療現場で究極の判断に関する理解を深める。 <u>臨床の現場での処置等に関する知見を提示し、より実践的な授業を展開している。</u>
	医学・医療概論	江原 朗	病院で小児科医師として勤務。 (1991～2003)	医学とはなにか、医療とは何かを学ぶことを通じて、現代社会における医学と医療の役割、人権を尊重した医学・医療について学ぶ。 <u>臨床の現場での処置等に関する知見を提示し、より実践的な授業を展開している。</u>
	臨床医学Ⅳ	江原 朗	病院で小児科医師として勤務。 (1991～2003)	臨床医学について、疾患の病態生理、症状と徴候、検査及び治療法などを学ぶ。 <u>臨床の現場での処置等に関する知見を提示し、より実践的な授業を展開している。</u>
	医療関連法規	江原 朗	小樽市保健所で行政医師として従事。 (2003～2011)	医療福祉専門職に関連する法規を中心に解説し、医療施設における役割について学ぶ。 <u>保健所にて行政医師として従事し、病院への立ち入り調査を踏まえた経験を提示し、より実践的な授業を展開している。</u>
	病院管理学	笹川 紀夫	大学医学部で附属病院での業務分析・改善、組織管理、医療管理全般について従事。 (1986～1993)	<u>病院および医療関係施設のリーダーになろうとする職員が理解しておかなければならないマネジメント理論と技術そして思考方法を学ぶ。大学での研究、実際の経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>

## 実務経験のある教員による授業科目（医療経営学科）

医療経営学科	医療機器と物品管理	笹川 紀夫	大学医学部で附属病院での業務分析・改善、組織管理、医療管理全般について従事。 (1986～1993)	病院での物品の在庫や医事請求情報の管理方法、さらには、それらを総合的に管理するSPD システムについて学ぶ。 <u>大学での研究、実際の経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	公衆衛生学	笹川 紀夫	大学医学部で附属病院での業務分析・改善、組織管理、医療管理全般について従事。 (1986～1993)	公衆衛生学、疫学の手法の理解を通して、疾病リスクの評価を理解する。 <u>大学での研究、実際の経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	医療情報学Ⅰ	笹川 紀夫	大学医学部で、附属病院の情報化や地域医療情報システムの構築及び分析に従事。(1993～1998)	保健医療情報の情報科学的認識、情報化の動向、医療情報システムの実際、標準化の動向、セキュリティ管理、個人情報保護の方法などについて学ぶ。 <u>大学での研究、附属病院での情報化などの経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	医療情報学Ⅱ	笹川 紀夫	大学医学部で、附属病院の情報化や地域医療情報システムの構築及び分析に従事。(1993～1998)	ICT を活用した的確な診療情報管理がいかに保健医療の質の向上に貢献し得るかを学ぶ。 <u>大学での研究、附属病院等での情報化などの経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	医療統計学	笹川 紀夫	大学医学部で、附属病院の情報化や地域医療情報システムの構築及び分析に従事。(1993～1998)	診療情報を活用するための基礎として統計処理の基礎知識、根拠に基づいた医療、データ処理の実際を学ぶ。 <u>大学での研究、附属病院等での情報の分析などの経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	医療秘書概論	田村 潤	病院にて医事課勤務 (1985～2000)	医師事務作業補助者として必要な知識を学ぶと共に、医療保険制度を補完する労災保険・自賠責保険・公費負担医療制度を学ぶ。 <u>実際に労災等の請求事務・業務管理に携わった経験を活かし、教科書に記載されていない業務の要点を教えている。</u>

## 実務経験のある教員による授業科目（医療経営学科）

医療経営学科	医療事務概論	田村 潤	病院にて医事課勤務 (1985～2000)	患者の診療に付随し発生する事務作業について、概要を解説する。医事課は新卒者が配属される可能性が最も高い部門であることから、 <u>実際に業務に従事し、後に部門長として管理にも携わった経験から、業務を学生に解りやすく解説すると共に、教科書に記載されない実践的な要点を教えている。</u>
	疾病分類学演習 I	田村 潤	病院にて病歴管理室業務 (2000～2001)	診療録の退院時要約に記載された傷病名を ICD コードに置き換える演習方式の授業。担当教員は診療情報管理士指導者の資格を有し、 <u>部門長として業務に従事した経験から、手法を学生に解りやすく解説し、実践的な要点を教えている。</u>
	医療経営分析	田村 潤	病院経営コンサルタントとして業務に従事 (2003～2013)	外部環境や内部資源などの収集データから、経営状況を分析する手法を学ぶ。 <u>急性期～慢性期まで多種多様な病院の経営診断・コンサルテーションに携わった経験を踏まえ、分析・評価の着眼点を実践的に教えている。</u>
	医療文書技術論	田村 潤	病院にて医事課業務 (1985～2000) 法人本部で病院経営管理に従事 (2000～2003)	前半は病院で使用される各種文書、後半は病院の新設や維持管理等で行政に提出される書類について解説する。 <u>実際に管理職として文書作成や業務管理に携わった経験や病院の新設や施設基準の届出管理に携わった経験を活かし、教科書に記載されない実践的な要点を教えている。</u>
	疾病分類学 I	田村 潤	病院にて病歴管理室業務 (2000～2001)	疾病分類学の端緒となる授業で、分類上のルール等を学んだ後、傷病名を ICD コードに置き換える手法を学ぶ。担当教員は診療情報管理士指導者の資格を有し、 <u>部門長として業務に従事した経験から、手法を学生に解りやすく解説し、実践的な要点を教えている。</u>

## 実務経験のある教員による授業科目（医療経営学科）

医療経営学科	疾病分類学演習Ⅱ	田村 潤	病院にて病歴管理室業務（2000～2001）	疾病分類の習熟度を高める授業で、診療情報管理士教育問題集を用いて設問を解く演習形式の授業。担当教員は診療情報管理士指導者の資格を有し、 <u>部門長として業務に従事した経験から、設問の意味や解答方法を学生に解りやすく解説し、実践的な要点を教えている。</u>
	経営戦略論	成清 哲也	学校法人の経営企画室の勤務（2015～2017）	本講義は経営戦略論を概観することを目的としている。理論の学習や理論を用いた事例分析を通じて、経営戦略について考えていく。 <u>大学での経営企画室の勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	マーケティング論	成清 哲也	学校法人の経営企画室の勤務（2015～2017）	製品やサービスを市場に投入する際、考えなければならない戦略などについて学び、マーケティングに関する知識を身につけることを目的とする。 <u>大学での経営企画室の勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	医療と経営戦略	成清 哲也	大学並びに大学付属病院の情報システム室業務及び学校法人経営企画室業務（1980～2017）	本講義は経営戦略論で学習した知識を、医療組織に当てはめて理解することを目的としている。一般的な営利企業の経営戦略と、医療組織の経営戦略とがどのように違うのか、基本的な視座を養うとともに、現代の病院経営で求められている戦略とは何かをケースを通して学ぶ。 <u>病院並びに大学での勤務での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	医療とマーケティング	成清 哲也	大学並びに大学付属病院の情報システム室業務及び学校法人経営企画室業務（1980～2017）	営利組織で育まれたマーケティングを非営利組織である医療機関にどう適用するのかを総合的に理解する。また、識者の講演やケーススタディの中でディスカッションを通して実践力を養う。 <u>病院並びに大学での勤務での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>

## 実務経験のある教員による授業科目（医療経営学科）

医療経営学科	医療と人的資源管理	成清 哲也	大学並びに大学付属病院の情報システム室業務及び学校法人経営企画室業務 (1980～2017)	「医療と人的資源管理」の基本を振り返り、医療機関における人的資源管理について知識を深め、ケーススタディを通して考える。 <u>病院並びに大学での勤務での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	実践病院情報システム	服部 建大	診療情報管理士及び医療情報技師として病院勤務 (2007年～2011年)	医療機関が存続・発展していくには、その地域の中での役割を認識し、適正規模の施設、設備のハードと、それを経営、運営するソフトが一体となり、効率的で質の高いサービスを提供できる仕組みづくり、システム化が重要である。本講義では、医療機関のシステム化に向けて経営診断、電子カルテ、物流システム構築といったソフトの領域と、建築設計や医療機器調達支援といったハードの領域の双方から病院の全体像を学び、初期投資、運営費などとの関わりを理解する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	医療リスクマネジメント論	服部 建大	診療情報管理士及び医療情報技師として病院勤務 (2007年～2011年)	病院組織の経営にあたって、現代ではリスクマネジメントが成否を分ける大きなポイントになっている。本講義では、病院を管理する際に配慮しなければならないリスクについての知識を習得し、予防のための取り組みについて学ぶ。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	診療情報管理論	服部 建大	診療情報管理士及び医療情報技師として病院勤務 (2007年～2011年)	患者が病院を受診すれば最初に必ず診療録が作成され、診療に関する情報が記録される。その記録に関する理解を深め、診療記録がもつ意義、管理業務内容の実務について学ぶ。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	病院管理シミュレーション	服部 建大	診療情報管理士及び医療情報技師として病院勤務 (2007年～2011年)	模擬診察室及び模擬病棟を利用し、実際の診療の流れを、患者の立場、医療スタッフの立場から体験する事で、病院内の、「人」「物」「金」「情報」の動きの理解を深めることができるようにする。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>

## 実務経験のある教員による授業科目（医療経営学科）

医療経営学科	疾病分類学Ⅱ	服部 建大	診療情報管理士及び医療情報技師として病院勤務 (2007年～2011年)	疾病分類学Ⅰで修得した基礎知識を基に診断名の構成、分類軸・索引軸、具体的な留意点等の理解を深め、ICD-10の各章の実務面での頻度の高い疾病を中心にコーディング技術を修得する。 また、主要病態の再選択、死亡診断書における原死因を選択するルールを身につける。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
--------	--------	-------	---	--